



# しじゅうから

福島市小鳥の森通信2017年11月号 No.383

## 小鳥の森で観察してみよう 72

### ミヤマガラス

カラス科

大きさ：47cm（よく見るカラスより少し小さい）

生態：

ヨーロッパやユーラシアに広く分布しているが、冬になると日本にも渡ってくる。雑食だが、地面にくちばしを突っ込んでミミズや昆虫の幼虫などを探して食べる。大きな群を作ることがある。

小鳥の森での観察：

2016年には移動途中の35羽を見ることができました。

「カララカララ」  
「ガァー」と鳴く

くちばしはまっすぐで灰白色  
（よく見るカラスは黒色）



今回の絵は、えんどうあきらさんが描いてくれました。

## 11月の自然予報

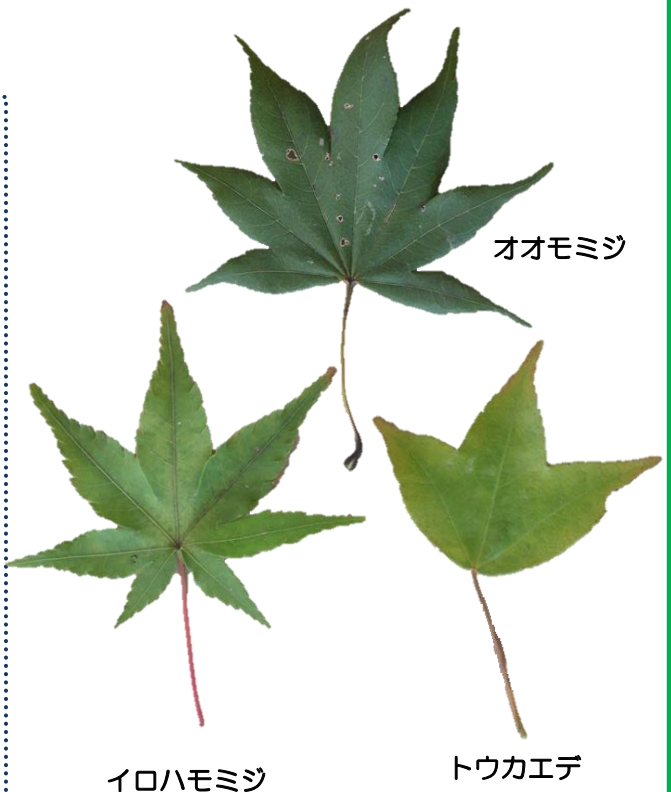
11月になると寒い日も増え、紅葉と落葉が進むでしょう。

薪炭林として管理してきた小鳥の森には、コナラやクヌギが多いので、紅葉の代名詞でもあるカエデの仲間は、種類も数も決して多くはありません。しかし、駐車場近くの街路樹にはトウカエデ、森の中ではイロハモミジやオオモミジなどがこの時期にきれいに色づいて来園者の目を楽しませてくれます。

11月中旬から下旬にかけては、森の中は落葉でいっぱいになります。カサカサと音を立てながら森の中を歩くのも良いのではないのでしょうか。

小鳥の森のカエデの種類

|            |
|------------|
| オオモミジ      |
| ミツデカエデ     |
| ウリカエデ      |
| イロハモミジ     |
| ウラゲエンコウカエデ |
| エンコウカエデ    |
| ウリハダカエデ    |
| コハウチワカエデ   |



# 10月の自然

10月も中旬になると寒い日も増え、夏の虫を見る機会も減りました。また、卵を産むために鳴いて結婚相手を探すコオロギやキリギリスなど、秋の虫でにぎやかになりました。

そんな中、冬の間を蛹(さなぎ)で過ごすスズメガの幼虫を2種類見つけました。毒を持つ毛は無く、触っても痛くない「尾角」と言う突起が特徴です。蛹を作る直前には、体長8cmにもなる存在感たっぷりのイモムシです。そのまるまると太った体になるために、驚くほどたくさんの葉を食べます。スズメガは種類によって食べる植物が決まっています、今回見つけた「ベニスズメ」はオオマツヨイグサなど、「モモスズメ」はサクランボなどの葉を食べます。

ベニスズメはしばらく飼育をして、来園の皆さまに触り心地や食べる様子、大きなフンなどの観察を楽しんでいただきました。

自分で出した糸で葉をまとめ、蛹になる準備をはじめた頃、見つけた場所に帰しました。



← ベニスズメ

尾角



モモスズメ →

## 小鳥の森スタッフだより

10月に入り、園内や隣接する阿武隈川では、南へ移動する夏鳥や、北や高い山から冬を越すために飛来した野鳥の確認が出来ました。

園内では8日にミソサザイ、15日にシメ、17日にジョウビタキを確認しました。阿武隈川では1日にオナガガモやホシハジロなどが、19日にコハクチョウが冬を越すために飛来しました。また、同じ河川敷でも12日に夏鳥のノビタキやオオヨシキリが南へ渡っていく様子を見る事ができ、野鳥も冬へ向けて準備をしているようでした。

今後、冬の野鳥が飛来してくるので、野鳥観察に出かけてみると、夏とは違う野鳥に出会う機会が多くなると思います。



シメ



ノビタキ

(レンジャー細井俊宏)

## ボランティア講座を開催しました

10月14日にボランティア講座「屋外活動リスクマネジメント」を開催しました。

野外で出会うスズメバチやマムシ、ヤマウルシの見分け方や対処法、事前準備などを学びました。

野外に出て、危険予知トレーニングも行い、実際に活動する時に注意することなどをみんなで考えました。

ボランティア講座は、毎年4・5月に募集を行い、野鳥や昆虫、植物などのテーマで計8回行われます。

小鳥の森のボランティアガイドになりたい方は、ぜひ来年度お申込み下さい。



ボランティア講座の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。  
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

\*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間: 午前8時30分~午後5時

《入場無料》休館日: 毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2017年11月号No.383/企画・発行: 福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま